

学校関係者評価委員会の協議のまとめ

1. 日 時 12月17日（月） 10：00～
2. 参加者 園長、評価委員（保護者より5名選出） 計6名

今年度より、新たに選出した学校関係者評価委員の皆様と2度目の評価委員会を開催しました。職員の自己評価と学校関係者評価アンケートの結果をもとに、さまざま意見交換をしとても内容の濃い時間を過ごしました。

自己評価報告書を受けて

- ト 園長先生を始め、教職員の方々が園をより良くしようと取り入れたり改善点など、取り組む姿勢に感謝し、改めて自分の子どもを第二愛隣こども園に入園させて良かったなと思いました。
- ト 職員同士で情報を共有し、一人ひとりに合った声掛けは毎年すごくよくなっているように感じます。担任じゃない先生からも、自分の子どもの様子を聞けるので園での情報の共有が出来ているように感じます。
- ㇿ 先生自身との直接のコミュニケーションは、通常なかなかとれないので、れんらくノートの活用をもう少し増やしたり、本人の様子を細かく教えて頂けると嬉しいです。

『今後、園へ期待すること』

- ト 子どもに対しての教育・保育等は小学生になった時に改めてありがたみを感じます。年長組での「自分のことは自分で」が特に他との違いが感じられます。
- ト バス通園なので先生方とお話する機会が少なく、不安なことを聞きたくても些細な事で手をわずらわせては…忙しいだろうから申し訳ない…と感じていましたが、れんらくノートをツールにしてもっと活用していこうと思いました。
- ト 先生方が毎日目標を持って保育を行い、その後の振り返りや他の先生方と情報を共有して、よりよい園にしていく努力をされているので保護者の方にそういった先生方の頑張りがもっと伝わると良いと思います。
- ㇿ 「先生⇄子ども」だけでなく、「先生⇄保護者」のコミュニケーションが取れる機会がもっと増えたら理解も増えると思います。

この意見をしっかりと受け止め、職員一同で話し合い、来年度に向けてより園運営に努めていきたいと思えます。

以上